

ハリストス生まる！



崇め讀めよ！

道央宣教セミ・ブロック機関紙

(札幌・小樽・苫小牧)

会報

2025年1・2月号

No.414



札幌ハリストス正教会

札幌ハリストス正教会 発行

発行責任者 司祭 エフREM後藤悠太

〒062-0042 札幌市豊平区福住2条2丁目3番1号

TEL:011-852-5644 FAX:011-856-0818

郵便振替 02790-8-4469

<http://www.orthodox-jp.com//>

E-mail haris-sp@bz01.plala.or.jp

札幌教会 聖堂の修理完了





8月中旬より始めました札幌教会聖堂の修理の工事ですが、12月上旬に修理が完了いたしました。壁の傷みが想定したよりも激しく(足場を組み立ててみないと分からない箇所がありました)、総工費は9,603,000円となりました。

皆様から献金していただいた修理献金は1,470,469円になりました。また、婦人会より200万円の献金をいただきました。ありがとうございます。

12月8日の聖体礼儀において、聖堂の成聖が行われました。あいにくの天気でしたので、それほど多くの方は参拝されませんでした。見違えるくらいに綺麗になった聖堂で共に神様を讃美することができました。



玄関のルーフ



聖堂南側の扉



痛んだ壁の修復



小樽教会 降誕祭



小樽教会にて12月14日(土)に徹夜祈り、15日(日)に聖体礼儀と早目の降誕祭のお祝いがなされました。聖体礼儀では、後藤神父より「降誕祭は私たちの心にイイススをお迎えする時である。私たちの心はイイススをお迎えするに果たして相応しいであろうか。私たちの心は洞窟の暗闇のように暗い心、闇の中にある心ではないだろうか。」と説教されました。

聖体礼儀の後は祝賀会を開き、皆さんでお弁当をいただき、歓談をいたしました。信徒の皆様には、土曜日から聖堂の準備、祝賀会の聖歌の練習と急ピッチで進めていただきました。感謝いたします。



婦人会だより

婦人会総会の報告が、会報の締め切りの都合上遅くなり申し訳ありません。10月27日聖体礼儀の後、信徒会館2階で14名の参加で婦人会総会が開かれました。23年度の活動報告、会計報告の後、後藤神父さまより会計監査報告があり、全員の拍手をもって承認されました。



次年度の計画では、見学会を一泊ではどうかとの話もありましたがまだ決まっておられません。ご希望を是非お聞かせ下さい。また婦人会会費について上乘せしてはというご意見があり

ましたが、今年度は余裕のある方は献金して頂くということになりました。よろしくお願い致します。

先日、聖堂の修復献金として以前からお約束していた 200 万円を婦人会として献金致しました。

12 月 4 日は生神女進堂祭の聖体礼儀の後聖堂の中を 10 名で清掃しました。ご奉仕ありがとうございます。



北海道ブロック聖歌研修会

11 月 16 日(土)、17 日(日)の二日間にわたり函館ハリストス正教会で北海道ブロック聖歌研修会が開催されました。

今回は聖体礼儀の「アナフォラ」の部分に焦点を合わせ、アナフォラにはどんな意味があるのか、相応しい聖歌はどのようになるか、などエカテリナ児玉マトシカから講義がありました。また、四部や単音でアナフォラの聖歌を練習しました。

また、エレナ笠原姉は祭日の難しいイルモスについてご指導してくださいました。



北海道ブロック宣教会議

11 月 23 日(土)、24 日(日)に札幌教会で宣教会議が行われました。

今後の聖歌研修会のあり方、またキャンプのあり方について意見交換がなされました。次の札幌教会担当のキャンプは基本的に今までのやり方を踏襲するが、その次の函館教会担当のキャンプからは、子供主体のキャンプにし、バスによる移動も考えなおしたいという意見が出ました。また新しい北海道ブロックの活動として、信徒懇親会を行うことが決められました。